

B 日 程

〈出典一覧〉

国語	谷川俊太郎	「楽しむということ」『からだに従う ベストエッセイ集』一部改変	集英社
国語	松尾聰 永井和子 校注・訳	新編日本古典文学全集『枕草子』一部改変	小学館
国語	戸谷洋志	『責任と物語』	春秋社
日本史		スペイン内戦	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル
日本史		アメリカのポスター	サイネット株式会社
日本史		冷蔵庫の宣伝ポスター	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル
日本史		五カ年計画のポスター	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル
日本史		『日本の100年』掲載のデータを本学にてグラフに加工	矢野恒太記念会
世界史		タイ文字 アラビア文字	東京書籍
世界史		楔形文字	株式会社帝国書院
世界史		キリル文字	山川出版社
世界史		クリスタル・パレス	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル
世界史		パリ万国博覧会の夜の電気館	株式会社ワールドフォトサービス

第一問 【共通問題 現代文】

(一) 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

楽しむとはどういうことなのだろうか。悲しみや怒りにくらべると楽しさは分りやすい感情のように思えるので、私たちはしばしば楽しさは単純なものだと考えてきた。自分が楽しんでるか否かは、すぐに分る。ところが自分が悲しんでいるのかどうかは、自分で決定しかねることが多い。悲しみには他のたとえば怒りとか、悔れとか嫉妬とかの感情が混りやすいが、楽しさはもっと純粹だと、そう言えるのかどうか。それとも他の感情とちがって、楽しさにおいては、人間は自分をいっおろすことが少ないのであろうか。

楽しむと言ってしまうと、そのあとにはもう余分な言葉や説明は不要なように思えて、そのことで楽しさというものが、何か底の浅いもののように思えることがある。悲しいと言くと、人間は悲しみのわけを詮索したくなる。それは私たちが悲しみをいやしたい願うからなのだろう。それと対照的に楽しさのわけを私たちは余りたずねたがらない。楽しければそれで結構じゃないか、楽しさは長つづきすることにはないのだから、出来るだけそつとておこうというわけなのだろうか。自分が楽しい時は、その楽しさにかまけてものを考えないし、他人が楽しそうな時は、いささかの羨望からその楽しさに無関心になる。そんな心の動きがあるような気がする。そのおかげで私たちは、楽しむというこのもつ、さまざまな陰翳をとらそこなうことがありはしないか。

楽しむ物を食べる楽しさがある、好きな人と共にいる楽しさがある、ひとりではやり時を過せるという楽しさもある、そして一篇の詩を読む楽しさがある。それらを私たちは均質に楽しんでいるのだろうか。それらの楽しさのちがいを言葉で言い分けることは難しいにしても、少くともそこに微妙な味わいのちがいは存在するだろう。人生を楽しむと一口に言っても、子どもの楽しさ

たと、おとなの楽しさかたの間に差があるだろう。理由のない悲しみというようなのがあるとすれば、理由のない楽しさもあるだろう、そのどちらがより深い感情かは断じがたいはずなのに、私たちはともすれば **A** よりも、**B** をたつとが。

アメリカ人とつきあうようになったころ、エンジョイ（楽しむ）という言葉に、彼等が私たち日本人よりも大切な意味を与えているらしいと知って、少々奇異な感じがしたおぼえがある。パーティに招かれても、すぐに主人役が近づいてきて、楽しんでいるかと訊く。イエスと答えれば彼は満足するし、帰りがけにこつちが言うお礼の言葉も、楽しかったとひとこと言えばそれで十分なのである。そのエンジョイという言葉は、たとえば一篇の詩の読後感にも、真率なほどの言葉として使われる。パーティも楽しむのなら、詩も楽しむものだというその考えかたに、何かしら少々大ざっぱなものを感ぜたと同時に、彼等が私たち以上に楽しむことを大事にしているのを、うらやましくも、またいじらしくも思った。

楽しむを口に出せば、その人が本当に楽しんでるかと言えは、そうも言えないだろう。他人に伝える必要のない、自分だけの楽しさもあるし、他人とわからぬことでも余計に楽しくなる楽しさもある。²日本人がアメリカ人よりも、楽しむを感ずる度合が少いとは思えない。けれどひとつの社会が、楽しむというこにどれだけの価値を、暗黙のうちに置いているかということになると、これはまた別の問題になる。

私は比較的自由な家庭に育ったけれど、楽しむというこにいつもかすかなうしろめたさのようなものを感じていた。楽しむことはどこかで不真面目につながり、またどこかで子どもっぽさにも通じていた。楽しかった？ ときかれて、うんと答えるのは動物園帰りの子どもには許されるけれど、おとなにはささわしくない、たえ楽しかったとしても、おとなはそれを顔には出さぬものだ、そんな風に考えていたようなところがある。楽しさというものは感覚的なものであり、それは精神よりもむしろ肉体にむすびついていて、どこかに淫靡なものをかくしていたとさえ言える。

こういう感じがたがどこからきたのかをさぐるのは、私にとっては容易なことではない。武士は白い歯を見せなくてはならないという儒教的な伝統が、我が家に残っていたのかもしれないし、私の母が影響を受けたと思われるキリスト教的な禁欲主義が、目に

見えないところで私をばばっていたかもしれない。そしてまた、宮沢賢治の「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉に集約されているような、理想主義的な考えかたが、自分だけに或やましさを与えていたというこもあつたかもしれないし、何よりも戦中戦後の生活の困難が、楽しむということを一種のタブーにしていたと思う。

そういう風に感じる自分には反撥するような気持ちで、肉体が性的に成熟しようとする一時期、私は少しむきになって過去にも未来にも目をつむり、自分ひとりの現在に生きる楽しさを謳歌したことがあつた。しかしそれでもまだ、私には感覚的全的な解放に対するおそれのようなものがあつたようだ。これは私ひとりだけの感しかたであつたのだろうか。

今の日本に生きる私たちは楽しむこに事欠かないように見える。楽しむこはおおむらに奨励され、楽しむための技術はさまざまに工夫され、それは人生の唯一の目的であるかのようにも装われている。それが単に楽しみを完る商業主義の結末だけではないことは、反体制的な若者たちもまた、物質に頼らぬ質素な生活の楽しみを求めてさまよっているのを見ても分るだろう。

だがその同じ私たちが、一篇の詩を本当に楽しんでるかどうかは疑わしい。詩に限らず、文学、芸術に関する限り、私たちは楽しさよりも先ず、何かしら（ためにな）を追うようだ。楽しむための文学を、たとえば中間小説、大衆小説などと呼んで区別するところにも、自らの手で楽しむこを卑小化する傾向が見られはしまいが、感覚の楽しみが精神の豊かさにつながっていないか、楽しむを極端の評価として得ないのだ。

楽しむこのできぬ精神はひよわた、楽しむこを許さない文化は未熟だ。詩や文学を楽しむめとらに、今の私たちの現実生活の楽しさかたの底の浅さも表れていると思う。悲しみや苦しみにはしばしば自己憐憫が伴い、そこでは私たちは互いに他と甘えあえるが、楽しむはもっと孤独なものである。楽しむの責任は自分がとらねばならない、そこに楽しむの深淵ともいべきものもある。それをみつめることのできる成熟を私たちはいつの間にか失つたのだろうか。それともまだまだ得ていないのだろうか。

(谷川俊太郎「楽しむこと」)

問1

a・bの読みをそれぞれひらがなで記しなさい。解答番号は **a** — **1** **b** — **2**

- 1** 羨望 **a** **2** 謳歌 **b**

問2

① 彼の感情とちがって、楽しさにおいては、人間は自分をいつわることが少い、とあるが、これはどのようなことをいうのか、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **3**

- A** 悲しみの感情には怒りや悔れみ、嫉妬などの感情が混じりやすいが、楽しむ場合は、他の感情は入りこまず、純粹であるということ
B 悲しみのわけを詮索されたとき、答えたくなくて嘘をつくこともあるが、楽しむ場合はわけを聞かれないので嘘をつく必要がないということ
C 悲しみの場合は、その感情を明確にしにくく決めかねるが、楽しむ場合は、楽しいことを抵抗なく認めるということ
D 悲しみの場合は、他人の悲しさに敏感であるがゆえにその理由を詮索しようとするが、楽しむ場合は他人のそれには無関心を装うということ
E 悲しみの場合は、複雑なほかの感情が混じってはいいても悲しいと認識するが、楽しむ場合はそれにかまけて何も考えないということ

問3 空欄 A・B にはいる語の組み合わせとして、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 4

- ア A 気持ち — B わけ
イ A 感覚 — B 論理
ウ A 笑顔 — B 涙
エ A 弱さ — B 強さ
オ A 饒舌 — B 沈黙

問4 ② 日本人 ③ アメリカ人の楽しさの感じ方や楽しむ方の説明として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 5

- ア パーティにも詩にも区別なくエンジョイをほめ言葉として使用するアメリカ人は、日本人よりも文芸を楽しむことを享受している
イ アメリカ人のエンジョイは、いろいろなことを均等に楽しむという文化であって、それは大雑把で底が浅い
ウ アメリカ人は積極的にものを楽しみ、エンジョイと口にするので、日本人よりも楽しさを深く感じている
エ 戦中戦後の困難さが、あらかじめ用意されたものでしか楽しむことができないという、今の日本人の文化に影響している
オ エンジョイというひとことすべての気持ちを込めるアメリカ人は、孤独な楽しさには価値をおいていない

問5 ④ 白い歯を見せてはならない、とはどういうことか、その意味としてもっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 6

- ア めったなことでは笑ってはならないということ
イ 他人を侮辱してはならないということ
ウ 人前で照れてはいけないということ
エ 歯ざりするほど悔しがつてはならないということ
オ 歯に衣着せぬような物言いはいけないということ

問6 ⑤ 宮沢賢治 の作品ではないものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 7

- ア 注文の多い料理店
イ セロ弾きのゴーシュ
ウ よだかの星
エ 月に吠える
オ 春と修羅

問7 ⑥ 或る、とあるが、同じ品詞の語を、本文の一二段落の波線をつけた語から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 8

- ア 考えが_らだ イ _すぐに ウ _{ぞう}言える エ _{あろ}うか オ _ぞのあとには

問8 ⑦ 楽しむための文学を、たとえば中間小説、大衆小説などと呼んで区別するところにも、自らの手で楽しむことを卑小化する傾向が見られまいか とあるが、人々が中間小説や大衆小説を区別し、楽しむことを卑小化するの
はなぜか、その理由として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 9

- ア 今は楽しむことに事欠かず、中間小説や大衆小説はもはやその役に立たないから
イ 中間小説や大衆小説は通俗的で、それを楽しむと思ふことにやましさがあるから
ウ 中間小説や大衆小説の娯楽性が、一篇の詩を楽しむことを遠ざけているから
エ 文学を読むための素養が未熟で、本来備わっている楽しさを味わえないから
オ 娯楽的な文学にもっともらしい名前を付けて、ためになるように見せかけているから

問9 ⑧ それをみつめることのできる成熟を私たちはいつの間にか失ったのだろうか、それとも未だもた得ていないのだろうか とあるが、楽しむことにおいて成熟していないとはどういうことか、それを端的に表わした箇所を本文中から二十五字以内で抜き出し、記しなさい。解答番号は 10

問10 本文の内容と一致するものには①を、一致しないものには②を、それぞれマークしなさい。解答番号は 11、15

- 11 おとなが楽しいと思ふことと、子どもが楽しいと思ふことは、本来、違うはずであるし、おとなは子どもが楽しいと思ふようなことを楽しいと口に出すのはふさわしくない
12 楽しむための技術の受容や物質に頼ったおっぴらな楽しさは文化として未熟であり、もっと質素な生活を楽しむべきである
13 筆者が楽しさに対して感じるうしろめたさの要因の一つは、楽しさが肉体にむすびついて淫靡なものと感じていたからである
14 私たちは、実利を重んじる傾向があるが、文学や芸術にもそれを求めてしまう根底には、楽しむことができる精神のひよわさがある
15 他人の悲しみには共感できるが、楽しさは人間にとって孤独なものであり、他人の楽しさには共感できないところに深淵さを感じられる

(二) 次の問いに答えなさい。

問1 次の傍線部に相当する漢字を含むものを、それぞれア～エの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
解答番号は 16・17・18

16 社には神がチンザする

ア 予期せぬチンキヤクが訪れた
イ チンツウのため注射を打った
ウ 建物のチンシヤク料を払う
エ そのような考えはチンブだ

17 反対者をカイジユウする

ア クジユウをなめる
イ 重機をソウジユウする
ウ ヤジユウを狩る
エ あの人ユウジユウ不断だ

18 気にサワレることを言う

ア 国連の安全ボシヨウ理事会
イ フシヨウしたため試合を欠場する
ウ 報告内容にシヨウゲキを受けた
エ 他国からカンシヨウを受ける

問2

次の空欄 X・Y にあてはまるものの組み合わせとして、もつとも適切なものをア～オの中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 19

X 口となるも Y 後となるなかれ

ア 糸・最 イ 河・雨 ウ 火・銃 エ 鰯・人 オ 鶏・牛

問3

「石の上にも三年」ということわざと類義的な意味を持つ四字熟語として、もつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 20

ア 臥薪嘗胆 イ 秋霜烈日 ウ 乾坤一擲 エ 不撓不屈 オ 先憂後樂

第二問 【選択問題 古文】

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、*印の付いた語句については、注を参照しなさい。
「これまでのあらすじ」

一条天皇の父である円融院の喪が明けた年、人々は喪服を脱ぎ、院に仕えていた人々も、故院の時代に思いを馳せなどしてしみじみとしていた。そうした中、一条天皇の乳母である藤三位のもとに手紙が届く。

雨のいたう降る日、藤三位の局に、*養虫のやうなる童の、大きな、白き木に立て文をつけて、「これ奉らせむ」と言ひければ、「つこよりぞ。今日明日は、物忌なれば、御もまらぬぞ」とて、下は立てたる欄より取り入れて、さなむとは聞かせたまへれど、「物忌なれば見」とて、上についさして置きたるを、つとめて手洗ひて、「いで、その昨日の巻数」とてこひ出でて、伏し拝みてあけたれば、胡髭色といふ色紙の厚肥えたるを、あやしと思ひて、あけても行けば、法師のいみじげなる手にて、これをだにかたみと思ふに都には素がへやしつる稚衆の袖と書いたり。「いとあさまじうねたかりけるわさかな。誰がしたるにかあらむ。仁和寺の僧正のにや」と思へど、「よにかかる事のたまはじ。藤大納言ぞ、かの院の別当におはせしかば、そのしたまへることなめり。これを上の御前、宮などに、とく聞しめさせばや」と思ふに、いと心もとなくおぼゆれど、なほいとおそろしう言ひたる物忌し果てとて念じ暮らして、またつとめて、藤大納言の御もとに、この返しをしてさし置かせたれば、すなはちまた返ししておこせたまへり。

それを二つながら持ていそぎまゐりて、「かがる事なむ侍り」と、上もおはします御前にて語り申したまふ。宮でいとつれなく御覧じて、「藤大納言の手のさにはあらざめり。法師のにこそあめれ。昔の鬼のしわざとこそおぼゆれ」など、いとまめやかにのたまはすれば、「さは、こは誰がしわざにや。好き好きしき心ある上達部、僧綱などは、誰かはある。それにやかれにや」などおぼめきゆかしがり申したまふに、上の、「このわたりに見えし色紙にこそ、いとよく似たれ」とうちはほあまされたまひて、いま一つ御厨子のもとなりけるを取りて、さしたまはせられたれば、「いであな心愛。これ仰せられよ。あな、頭いたや、いかでと聞きはべらむ」と、ただ責めに責め申し、うらみきこえて笑ひたまふに、やうやう仰せられ出でて、「使に行きける鬼童は、台盤所の刀自といふ者のもとなりけるを、小兵衛が語らひ出だして、したるにやありけむ」など仰せらるれば、宮も笑はせたまふを、引きよけたてまつりて、「などかくははからせおはしましそ。なほ疑ひもなく手をうち洗ひて、伏し拝みてまつりし事」と、笑ひねたがりあたまへるさまも、いとほこりに愛敬づきてをかし。

さて、うへの台盤所にも笑ひののしりて、局に下りて、この童たづね出でて、文取り入れし人に見すれば、「それにこそはべるめれ」と言ふ。「誰が文を誰か取らせし」と言へど、ともかくも言はで、しれじれしう笑ひて走りにけり。大納言、後に聞き、笑ひ興じたまひけり。

(『枕草子』)

注

★養虫のやう……………雨のため養を身につけている姿を言う。

★下は立てたる……………下半分は閉めてある状態。

★巻数……………僧が依頼によって経を誦したとき、読んだ経文の巻数を記し、依頼主に送る文書。巻が持つて来たものは巻数かと思われていた。

★胡桃色といふ色紙……………表は薄紅、裏は白の重ね色紙。巻数に白紙一枚に書いて白木の棒に付けて送るのが通例。

★これをだにかたみと思ふに都には葉がへやしつる椎柴の袖……………

……………「これは「椎柴の袖」。「椎柴の袖」は喪服の意。「葉がへ」は喪服を脱ぎ通常の衣になることの比喩。

★藤大納言……………藤原氏の大納言。後の大納言も同じ人物。

★院の別当……………円融院に仕えた長官。

★上の御前、宮など……………「上の御前は」一条天皇。「宮」は中宮定子。

★僧綱……………僧官と僧位の総称。

★鬼童……………「養虫のやうなる童」と同じ人物。

★台盤所の刀自といふ者……………宮中の詰め所で雑役をする女官。

★小兵衛……………中宮に仕える女房。

問 1 薔^①の読みをひらがなで記しなさい。解答番号は 21

問 2 つとめて^①の解釈として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 22

ア 念入りに イ 習慣として ウ 翌朝になって エ わさわざ オ 気を取り直して

問 3 聞きめさせばや^②を言い換えたとき、もっとも意味の近いものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 23

ア 聞きめさせじ
イ 聞きめさせてよ
ウ 聞きめさせけむ
エ 聞きめさせつべし
オ 聞きめさせまほし

問 4 いと心もたなくおぼゆれど^③とあるが、「心もたなく」の解釈として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 24

ア 上や宮に事情をうまく説明できないかもしれないという不安
イ 物忌が明けるまで行動に移すことができない気がした
ウ 怖い経験をしたことによる気がかりで落ち着かない気持ち
エ 仁和寺の僧正の評判はまるであてにならないという不信心
オ 手紙にあった和歌の内容がはつきりしないもどかしさ

問 5 かかる事なむ侍りし^④とあるが、「かかる事」の内容として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 25

ア 前日、大雨が降る中「これをだに……」という和歌が届いたこと
イ 和歌の送り主が仁和寺の僧正か藤大納言かが宮中で議論になっていること
ウ 宛先不明の手紙が複数届き、藤三位の方で一時的に預かっていること
エ 差出人不明の和歌が届き、返事を出したらすぐにまた返事が来たこと
オ 養虫のような姿の童が恐ろしいことを言っていたので、物忌を延長したこと

問 6 宮ぞいとつれなく御覧じて^⑤とあるが、宮がこのように反応した理由として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 26

ア 事の真相を知っていたから
イ 藤三位の行動に辟易していたから
ウ 男性社会のやりとりに興味がなかったから
エ 想定外の事態でも常に冷静な人物だから
オ 上の前では感情を露わにしてはいけないから

問 7 藤大納言の手のさまにはあらざめり^⑥を現代語訳しなさい。解答番号は 27

問 8

笑ひねたがり

の理由として、もつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。 解答番号は 28

- ア 上と宮に小兵衛が協力していたことがあまりに意外だったから
 イ 上と宮に対して疲れて体調が悪いことをごまかしたかったから
 ウ 上と宮のいたずらに翻弄されて大騒ぎした自分が滑稽だったから
 エ 上と宮の会話の内容が理解できず気まずかったから
 オ 上と宮が笑い合っている様子がすばらしくてほろりしかったから

問 9

物忌の最中に届いた「これをだに……」の手紙の送り主は結局誰か、次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。 解答番号は 29

- ア 仁和寺の僧正 イ 昔の鬼 ウ 藤太納言 エ 台盤所の刀目 オ 上

問 10

『枕草子』より前に成立した作品を、次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。 解答番号は 30

- ア 水鏡 イ 古今和歌集 ウ 狭衣物語 エ 発心集 オ 更級日記

第三問 【選択問題】 現代文

サン・テグジュペリ『星の王子さま』において、王子さまはもといた小さな星で一本のバラと出会った。そのバラを王子さまは世話するが、気まぐれな態度でうんざりし、バラを置き去りにして星を出てしまう。旅先で寄った地球で王子さまは、無数のバラやキツネと出会うことで、徐々に心境を変化させる。その過程について述べた以下の本文を読んで、あとの問いに答えなさい。

王子さまは、もと自分がいいた小さな星に、一本のバラを置き去りにしてきた。なぜならバラは彼にとって不愉快な存在だったからだ。王子さまは、あるときまで、そうした自分の行為に何ら疑問を抱いていなかった。しかし、地球にやってきて、キツネから助言を聞いた彼は、自分の過ちに気づかされた。そして、自分の命を賭けて、小さい星へと帰還することを決意した。その旅路のなかで、彼の考え方には何度か変化が起きている。

彼は、当初、その小さな星で初めてバラと出会ったとき、そのバラがとても美しいと思った。そもそもその星には花が咲き続けるということがほとんどなかった。たまたまに花が咲いても、その花はすぐに散ってしまっ

た。長い時間をかけて花開いたのだ。王子さまはそのバラの美しさに心を奪われた。彼はそのバラを、かけがえのない存在として愛していた。しかし彼は、このとき、まだ「かけがえのない存在」ということの意味を、しっかりと理解していたわけではなかった。彼にとって、それはわざわざ疑う必要のない、自明な判断だった。

しかし、地球にやってきた王子さまは、そのバラが無数に存在するバラの一本に過ぎなかった、ということに気づく。バラの花畑を前にして、王子さまは、自分が愛したバラは「かけがえのない存在」ではなく、したがって愛するに値しなかったと思っ

まう。

このとき王子さまは、「かけがえのない存在」ということの意味を、「同じ種類のものが他に存在しないもの」として理解する。このようにして彼の認識は訂正される。もといいた小さな星のバラは、彼がその星を去った後ではなく、その前から、最初から愛されるに値しなかったバラとして、再解釈される。そして彼は、愛されるに値しないバラに悪態をつかれ、そのせいでその星を去ったものとして、自分を解釈する。

しかし、それは彼を混乱させた。なぜなら、彼はやはり小さな星のバラを、「かけがえのない存在」だと思っていたからだ。彼にはその事実がうまく飲み込めない。それはいわば、彼がそれまで生きてきた物語に包摂できない、重大な変則事象なのである。

そんな彼に対して、キツネは次のような助言を与えた。確かに、王子さまが置き去りにしてきたバラは、無数のバラのなかの一つかも知れない。しかしそのバラは、王子さまと関わり合うことで、たった一つのかげがえのないバラになった。王子さまが助けたということによって、そのバラは王子さまにとって「かけがえのない存在」になった。だから、そのことを君は忘れてはいけない。そして、そうした「²一番大切なことは、目に見えないところにあるのだ」と。

この助言を聞き入れることで、王子さまは、再び「かけがえのない存在」に関する認識を訂正する。彼にとってそれは、もはや「同じ種類のものが他に存在しないもの」を意味するわけではない。³「⁴B」、同じ種類のものが他に存在するのだとしても、自分が関わった存在は、そのことだけによって「かけがえのない存在」になるのだ。

あの小さな星で、王子さまは紛れもなく、一本の生意気なバラを美しいと思った。それは、この世界にバラがその一本しか存在しないからではない。⁵「⁶X」からだ。王子さまは、そのとき、たった一度しか訪れない時間を、そのバラとともに過ごした。その小さな星に、偶然咲いたバラと、たまたまそこに居合わせた自分が関わった。そのありえないような邂逅に、彼は美を感じたのだ。そしてその美は、バラの外見の美しさを意味するのではない。キツネが助言するように、大切なことは目に見えなかつたのである。

このようにして彼は、過ちを犯したことを引き受けたのだ。自分は、本当に愛するべきだったバラを置き去りにしてしまった。そしてそれを行なったのは自分だ、ということを受け入れた。だからこそ彼はその責任を果たすために、危険を冒して、あの小さな星への帰還を試みたのだ。

このように、王子さまが責任を引き受ける過程では、彼がそれによって自己を解釈している物語の訂正が起きている。しかしその訂正は、彼を無責任な言い逃れや、単なる自暴自棄へと導くのではなく、責任の主体としての自覚へと促しているように思える。

おそらくそれは、王子さまが、その旅路のなかで何度か人生の物語を訂正しようとも、その物語の核となる部分を、守り抜いていたからではないだろうか。その核とは、かつてあの小さな星で、そのバラを確かに美しくと感じていた、ということだ。そのバラとともにいるとき、彼が紛れもなく明るい光のなかにいた、ということだ。

バラの表面的な悪態は、その物語にとって変則事象だった。地球で出会ってしまったバラの花畑もまた、変則事象だった。しかし彼は、自分がその一本のバラとともに過ごした時間を、決して忘れなかった。彼はそれを、自分から捨て去ることができないものとして、抱き続けていた。だからこそ、キツネの助言を聞き受けることによって、それまでに経験した様々な変則事象を包摂する、新しい物語を構成することができる。

「⁷C」、それによって彼は危険を冒さなければならなかった。しかしそれは決して自暴自棄を意味するわけではない。彼は、一本のバラが照らし出す明るい光を核とする物語を生きたために、自分が進むべき未来として、星への帰還を敢行したのである。それは彼の物語であり、彼はその敢行によって、自分が自分のなすべきことを行なっている、と確信できると違いない。

王子さまは、このようにして責任を引き受けた。おそらく彼の心は晴れやかなばかりではないだろう。しかしある種の自己肯定感を、これが自分である、これが自分の物語であるという確信を抱いてはいただろう。それは、たとえ後悔が何もなかったとしても、自暴自棄に陥っていたり、自分の人生を自分の人生として感じられなかったりする人とは、決して生じえない感覚だろう。

少なくとも王子さまにとって、それは幸福なことでもあったに違いない。彼は次のように語っている。

だが、なん百万もの星のどれかに咲いている、たった一輪の花がすきだったら、その人は、そのたくさんの星をながめるだけで、しあわせになれるんだ。そして、（ぼくのすきな花が、どこかにある）と思っているんだ。

王子さまは、自分の愛したバラが、この世界のどこかにあると思えることが、幸福だと言う。しかし、彼は同時にそのバラを置き去りにした。だから彼は、その責任を果たさなければならぬ。見方を変えれば、このように責任を引き受けることによってこそ、彼はバラに思いを馳せる幸福を感じることができるようになったのだ。もしも彼が自分の責任から逃れていたら、その幸福を知ることもなかっただろう。

（戸谷洋志『責任と物語』）

問 1

空欄 **A** から **C** にはいる語として、もっとも適切なものをそれぞれ次の中から選び、その記号をマークしなさい。ただし、一つの記号は一度しか使わないこととする。解答番号は **A** | **31** **B** | **32** **C** | **33**

ア しかし イ つまり ウ したがって エ たとえ オ たしかに

問 2

彼はやはり小さな星のバラを、「かけがえのない存在」だと思っていた。とあるが、ここでの「かけがえのない」とはどのようなことか、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **34**

ア 同じ種類の花が他にはないので、自分にとって特別であるということ
イ 地球と異なり小さな星では希少な花だから、自分にとって特別だということ
ウ 同じ種類の花が他にあっても、自分にとって特別であるということ
エ 美しさと名高い花であるため、自分にとって特別だということ
オ 同じ種類の花でも地球とは環境が異なるから、自分にとって特別であるということ

問 3

「一番大切なことは、目に見えないところにある」とあるが、本文において「一番大切なこと」とは具体的にどのようなものとされているか、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **35**

ア バラによる悪態を許容できる広い度量
イ バラに再び会おうとする強い決意
ウ バラの外見のみに惑わされない審美眼
エ バラとの奇跡的な出会いに感じ入る心
オ バラと過ごした時間を思い出す記憶力

問 4

認識を訂正する³³ とあるが、それはどのような行為につながるものとされているか、その内容に該当する箇所を十字で抜き出し、記しなさい。解答番号は **36**

問 5

X にはいる文として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **37**

ア 小さな星において、王子さまは他に花というものを見たことがない
イ 悪態をついたバラは、無数に存在するバラのうちの一本にすぎない
ウ 王子さまが生きてきた世界、その星においては一本しか存在しない
エ この世界で王子さまに生意気な態度を取った存在が、そのバラを置いて他にな
オ そのとき王子さまが関わったバラが、この世界にその一本しか存在しない

問 6

キツネが助言する³⁴ とあるが、キツネの助言は王子さまのどのような変化につながるものとされているか、その説明としてもっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **38**

ア 自身で明確にできていなかったものに気づいていくこと
イ これまでとってきた自身の行動を肯定していくこと
ウ 自身にとってわからない他者の存在を許容していくこと
エ 進むべき自身の未来に希望を感じるようになっていくこと
オ 自身とは相容れないものの見方に理解を示していくこと

問 7
責任を引き受ける^⑤ とあるが、それはどのようなことか、本文中の語句を用いて三十字以内で説明しなさい。
解答番号は 39

問 8
その幸福を知る^⑥ とあるが、王子さまが幸福を知るためには何が必要だったと言えるか、もつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 40

- ア バラの花との関わり合いを自身の物語において理解すること
イ バラの花との物語を他者の視点で再解釈すること
ウ バラの花の不愉快さの奥に隠された本当の物語に気づくこと
エ バラの花が変則事象なのではなく、自身の物語がそうだったと知ること
オ バラの花との物語の方が変則事象よりも大事だと認識すること

問 9
本文の内容と一致するものには①を、一致しないものには②を、それぞれマークしなさい。解答番号は 41 ～ 45

- ① もともといた小さな星において王子さまは、疑いのない自明な判断として、星に根を下ろし長い時間をかけて花開いたバラをととても美しいと思っていた
② これまで生きてきた物語に包摂できない事柄に出くわすたびに、物語は更新され、必然的に当人に成長をもたらすことになる
③ バラのいる小さな星への危険な帰還の旅も、王子さまの物語にとっての変則事象のひとつと位置づけられる
④ 王子さまが抱いたであろう自己肯定感とは、自分のなすべきことをし、進むべき道を進む、すなわち自分の物語を生きているという確信である
⑤ 王子さまの考える「しあわせ」とは、自身にとって好きで「かけがえのない存在」を持ち、それがどこにあると感じられることである